

(特別支援学校版「学力向上実行プラン」様式)

令和7年度 徳島県立ひのみね支援学校「学力向上実行プラン」

徳島県立ひのみね支援学校 校長 森本 裕美

1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校長 教頭	森本裕美 藤本洋美 吉本佑司
学力向上推進員	教務課長	豊田 尚子
委員	各学部長 主幹教諭 指導教諭・研究課長 人権進路課長 教務主任	福原薫 宮本洋子 谷口夏紀 森浩一 山田千代 二宮智子 片寄恭代 高木奈緒子

2 学力・学習状況における現状分析、目標等

【3つの視点】

- (1)基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

( 高 等 部 ) 幼 児 児 童 生 徒 の 状 況		
よさ	人との関わりを好み、学習活動に意欲的に取り組むことができる。係活動など決められた役割を進んで行うことができる。	課題 身体的制約や経験不足により、校外の人との関わりには不安が大きく、自分の気持ちや考えを伝える経験が不足している。
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標
エシカル啓発活動や乳児院訪問など校外での活動を通して、自分の思いや考えを伝える力を育み、地域の人々との関わりの中で、社会の一員としての自覚をもって行動しようとする。		校外での活動において、1人1回以上、他者に向けての働きかけができる。
		達成状況
		広報、乳児院訪問等、校外での活動において、1人1回以上他者に向けて主体的な働きかけができた。
		評価 A
具体的方策(教員の取組)		取組指標
①事前学習を行い、活動先や活動内容を写真や動画で提示したり、模擬体験できるようにしたりすることで、生徒が安心して参加できるようにする。	①校外活動の前に、学部全体及びグループで事前学習を行い、内容や役割、他者への発信方法を確認する。	①校外活動の前には学部やグループで事前学習を実施し、活動内容や役割、発信方法を確認した。ポスター作成や発表練習等を計画的に行った。
②生徒の実態や役割に応じ、コミュニケーション機器などを使って発信できるよう、個々に支援する。	②校外での活動中に、他者に関わる場面を1回以上設け、記録に残す。	②活動中は地域の人と関わる場面を設定し、個々の方法で発信した。写真や動画で生徒の様子を記録した。
* 中間期の見直し		
達成状況を踏まえた改善事項		
事前学習や教科横断的な準備により、生徒が安心して校外活動に参加できる環境づくりについて一定の成果をあげた。今後は、教員間の役割や指導力の共有・蓄積をさらに強化し、個々の実態に応じたコミュニケーション手段の充実を図る。また、活動後の振り返りを充実させ、評価方法を工夫して生徒の学びを広げる。		



